

第X因子		274500			
factor10		担当部署			
		血液			
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→血液学→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		特記事項なし			
検査受付時間		8:15~16:00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		空腹時静脈より採血し、気泡、溶血及び組織トロンボプラスチンの混入を防ぐ。			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位	
1 全血	2 黒小	3.2%クエン酸 Na	1.8	mL	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1) 採取容器違いの検体 2) 凝固検体 3) 採血量過不足の検体 4) サンプリングできない検体			
保管検体の保存期間		室温・当日中（追加検査については、検査室に要問合せ）			
検査結果・報告					
検査室の所在地		病院棟3階 中央検査部			

測定時間		当日中				
生物学的基準範囲		60～140% EX 共通 CL1141 : 「臨床検査法提要 改訂第 35 版」 425				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	%
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
70	130	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		妊娠後期や運動後には因子活性は増加する。 EX 共通 CL1141 : 「臨床検査法提要 改訂第 35 版」 424-426				
臨床的意義		肝臓で合成されるビタミンK依存性因子の一つ。先天性第X因子欠乏症、分子異常症は常染色体劣性遺伝形式をとり、きわめてまれである。PT、APTTともに延長する。ビタミンK欠乏症、重症肝実質障害で低値、妊娠後期、過凝固状態で高値を示す。 EX 共通 CL1141 : 「臨床検査法提要 改訂第 35 版」 424-426				